

令和3年度 第5回部長会議 会議記録（要旨）

開催日時：令和3年7月8日（木） 15時00分から17時40分まで

開催場所：A203・204会議室

出席者：佐藤市長、高田副市長、代田教育長、櫻井総務部長、塚平総合政策部長、細田リニア推進部長、塚平市民協働環境部長、高山健康福祉部長、串原産業経済部長、星野産業経済部参事、米山建設部長、毛利建設部参事、土屋上下水道局長、宮内市立病院事務局長、原田市長公室長、田中危機管理室長、北原会計管理者、和泉議会事務局長（代理小椋次長）、松下教育委員会参与、南信州広域連合吉川事務局長、佐々木財政課長、林企画課長

会議内容

1 理事者あいさつ

<市長>

令和3年飯田市議会第2回定例会は、議会構成が変わり、初めての定例会でしたが、新人議員の皆さんも、しっかりと一般質問に臨まれた。一問一答では、もう少し答弁を進めたかった場面もあったが、今後取り組むべき課題についてご提言をいただいた。

市長と語るまちづくり懇談会が始まっている。こちらも市長ばかりが話すのではなく、市民の皆さんとの対話を重視している。新型コロナウイルス感染症対策のため人数を絞った中での開催となり難しい面もあるが、ぜひ参加する機会をもっていただきたい。ふれあいトークでは、市民の皆さんとお話する時間を設けている。職員にも今一度、対話と現場主義の機会を持つように呼びかけてほしい。

<副市長>

議会答弁では、市民が抱える課題に対し職員自身がどう応えていくか、改めて整理をすることに意義がある。市長がどのように答弁されたかも含めて、見直してもらいたい。

<教育長>

千葉県八街市の事故や静岡県熱海市の災害では尊い命が失われた。私たちの住む地域でも改めて安全管理の確認を進めている。このような事故や災害の度に、職員の皆さんには新たな業務が発生してしまうことになるが、見直す機会をいただいたという気持ちをもって、改善に取り組んでももらいたい。

2 協議事項

（1）令和4年度の組織改編に向けた検討について（総務部）

◇趣 旨：いいだ未来デザイン2028の目指すまちの姿の実現に向けて、政策施策を効率的に推進できる組織体制を、部局レベルから検討し、見直す。

◇論点・課題

- ・これまでの課題整理と取組スケジュールを示し、部長会議において意見交換を行う。
- ・本日の意見交換を踏まえて整理を進め、10月の部長会、12月議会に上程を予定する。

◇主な意見等

（市長）市民の皆さんに対して、対話と現場主義から、組織全体で市民生活をどう向上させていくか、という視点をもって議論を深めてほしい。

（産業経済部副参事）全国的なDX推進がある一方、各地域や各部局で課題は様々である。組織体制だけに限らず、職員一人ひとりのITリテラシーの向上がDX推進には求められている。

◇協議結果

部長会了承

（2）「広報いいだ」1日号と15日号の統合について（市長公室）

◇趣 旨：「広報いいだ」を月1回の発行に統合する。1日号の一冊で市民に必要な市政情報を網羅し、読みやすく、保存しやすい、親しみのある広報誌にリニューアルする。

◇論点・課題

- ・「広報いいだ」1日号と15日号を、1日号に統合する。
- ・今後の広報活動の方向性を共有し、協議する。令和2年度市民の意識に関する基礎世論調査からは、全世代で、広報誌から市政情報を入手していることがわかる。世代別にみると20代をはじめとする若年層はインターネットを介して情報収集する傾向がみられる。
- ・統合した広報誌では、掲載情報が市WEBサイト等で漏れなく発信されるよう取り組みを進めていく。

◇主な意見等

- (リニア推進部長) まちづくり委員会等による文書回覧の機会に影響はあるか。
- (市長公室長) 回覧文書は、広報いいだ15日号だけではないため、これまでどおり実施する。
- (市立病院事務局長) 広報誌が月に1回となることで、情報発信の迅速性に影響はないのか。
- (市長公室長) デジタル広報への取り組みを進める中で、プッシュ型の通知機能を検討する。

◇協議結果

部長会了承

(3) 通学路の安全対策に係る庁内連携体制について(教育委員会)

- ◇趣 旨：通学路の安全対策を推進するため、平成24年度に組織した飯田市通学路安全検討委員会の庁内連携体制を強化する。庁内事務局である土木課、危機管理室、学校教育課の他に、国県関連事業課及びリニア推進部を含め、庁内通学路安全検討事務局会議を設置する。

◇論点・課題

- ・6月28日、千葉県八街市において、下校途中の児童5人が死傷する交通事故が発生した。
- ・本市の通学路では、リニア関連工事や三遠南信自動車道関連工事により、トラックの通行量が増加しているため、庁内関係課等で情報を共有し、安全対策を推進する。

◇主な意見等

- (副市長) 工事等では保育園や福祉施設があるコースをトラックが通行することもある。各部局で安全対策をチェックできるようにすること。
- (教育委員会参与) 庁内通学路安全検討事務局会議の設置によって機動力を持たせる。
- (保健福祉部長) 保育園等の通園路における安全対策のため、子育て支援課も事務局会議に参加する。

◇協議結果

部長会了承

(4) 議会による行政評価について(総合政策部)

- ◇趣 旨：令和2年度の戦略計画の評価について、飯田市議会各分科会で基本目標及び年度戦略(小戦略)を説明し、議会による行政評価を進める。

◇論点・課題

- ・飯田市議会分科会ごとに、前期4年間の最終年度である令和2年度の年度戦略(小戦略)の取組の成果と課題を説明した後、令和2年度の取組の課題を受けて令和3年度の年度戦略(小戦略)をどのように進めているかを説明する。

◇主な意見等

特になし

◇協議結果

部長会了承

(5) (仮称) リニア時代のまちづくりビジョンについて(リニア推進部、総合政策部)

- ◇趣 旨：南信州広域連合において、リニア時代を見据えた新たな機能が連携した地域づくりを推進する構想(ビジョン)の検討を進めるため、必要となる庁内検討案について協議する。

◇論点・課題

- ・南信州広域連合第4次広域計画後期基本計画(令和2年度～令和6年度)では、リニア時代を見据えた地域づくりの取組みとして、新たな機能の創出による地域づくりを位置づけている。

- ・リニア開通効果を地域振興に活かす観点から、リニア駅周辺整備、高等教育・研究開発機能（エス・バード）、アリーナ機能、飯田文化会館等が連携した地域づくりを推進するビジョン（構想）を描く必要がある。
- ・本ビジョンの検討に応じて、いいだ山里街づくり推進計画（飯田市版立地適正化計画）、飯田市土地利用基本方針（都市計画マスタープラン）との整合を図る。
- ・本ビジョンでは、国、県、市町村、隣接地域等と連携した視点が重要であるため、庁内検討案を作成し、検討のたたき台としていく。

◇協議結果

部長会了承

（６）リニアバレー構想の見直しについて（リニア推進部）

◇趣 旨：９月に開催予定の伊那谷自治体会議に向けて、リニアバレー構想の見直しを検討する。

◇論点・課題

- ・新型コロナウイルス感染症の流行により顕在化してきた社会情勢の変化をとらえ、平成 28 年度に策定したリニアバレー構想の見直しを検討する。
- ・各部署へ照会後に整理し、次回の部長会議に上程する。

◇主な意見等

特になし

◇協議結果

部長会了承

３ 報告事項

（１）公用車の事故状況及び飲酒運転根絶の取り組みについて（総務部）

◇趣 旨：今年度は、公用車の事故発生件数を年間で 18 件以下とするよう目標を立て取り組んでいる。しかしながら、第 1 四半期の時点で 4 件が発生し、昨年度と同じ件数となっている。各部署において一層の事故防止対策を講じること。

◇論点・課題

- ・危機管理室交通安全係が、ドライブレコーダーの記録をもとに事故未然防止ポイントを分析している。各部署において共有し、事故防止に活用すること。

（２）飯田市役所やさしい日本語ハンドブック（初版）について（市民協働環境部）

◇趣 旨：やさしい日本語ハンドブックを活用して、外国人住民に「やさしい日本語」で対応できるよう、窓口職員をはじめ全庁的な職員の意識醸成を図る。

◇論点・課題

- ・職員のやさしい日本語の活用意識は、外国人住民に限らず、職員が相手の立場に立った市民対応にもつながる。
- ・ハンドブックの言い換え事例を参考に、対応する外国人住民の日本語能力に応じた、やさしい日本語のスキルアップを図ること。

４ その他、連絡事項

（１）伝票返戻調査実施に伴う返戻状況（事由及び件数）について（会計課）

◇趣 旨：６月に実施した伝票返戻調査の結果を報告する。

◇論点・課題

- ・返戻率は 7.55% で前年度の同時期より増加している。重要度の高い返戻理由も発生しているため、担当者のみならず、支出命令印を押印する課長におかれては、必ず確認をおこなうこと。

５ 閉会